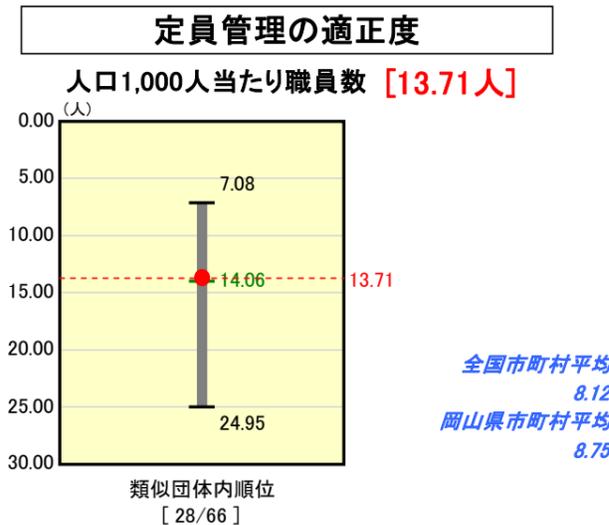
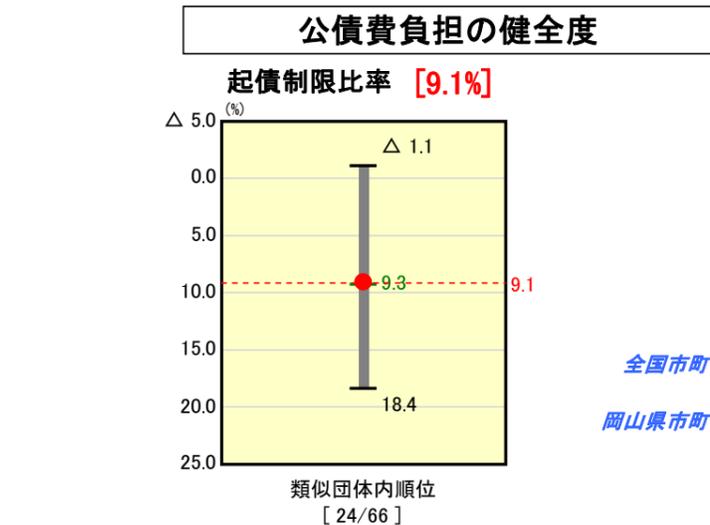
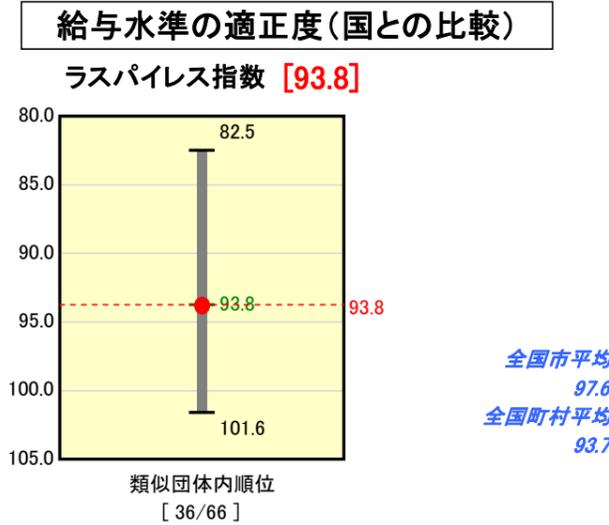
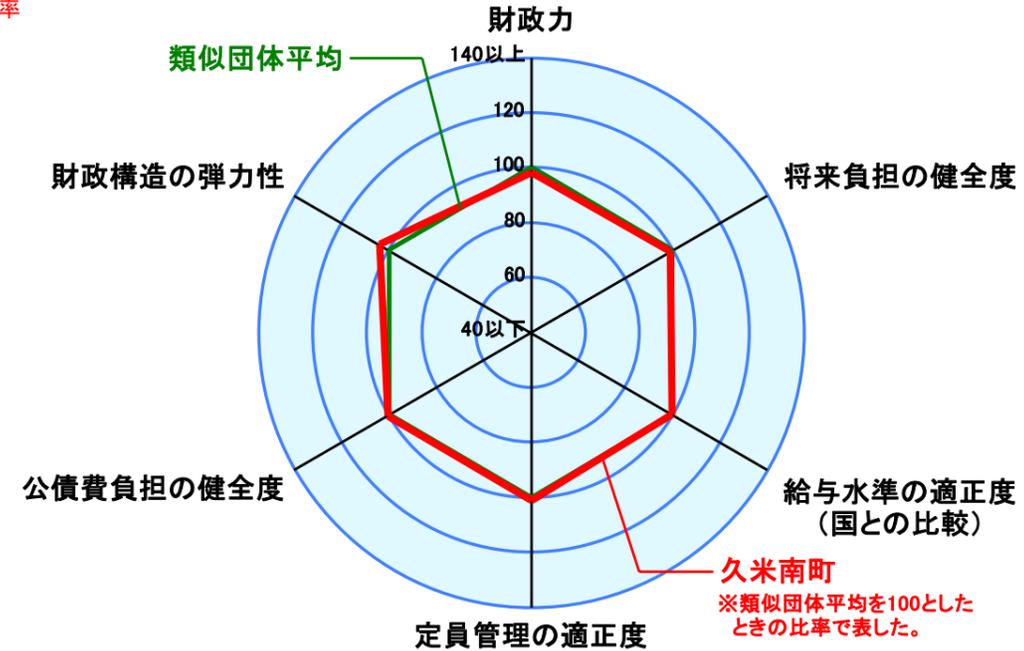
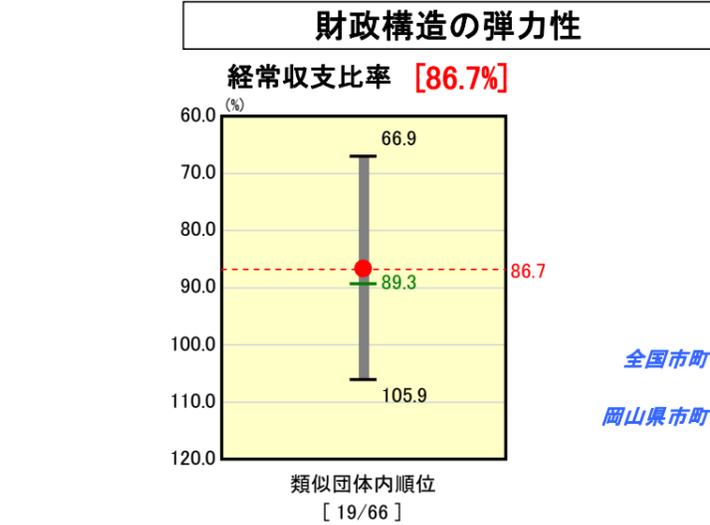
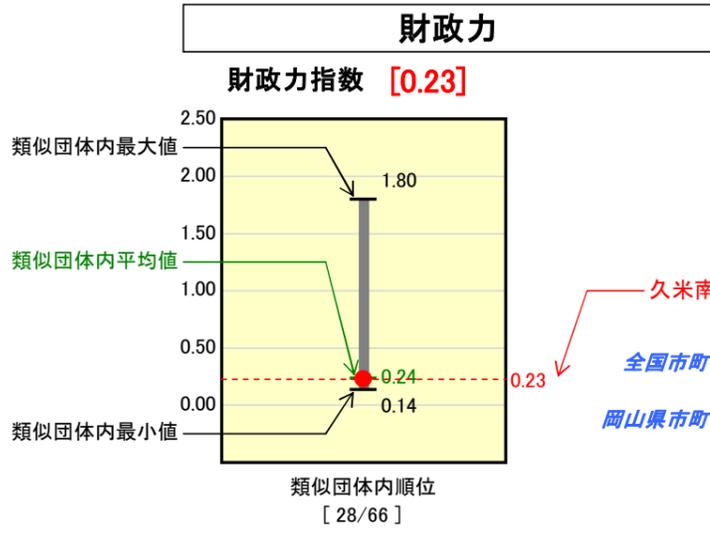


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

岡山県 久米南町

人口	5,982人(H17.3.31現在)
面積	78.60 km ²
歳入総額	4,097,058 千円
歳出総額	3,926,133 千円
実質収支	151,475 千円



分析欄

財政力指数：人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年度末35.6%)に加え、町内の主な産業が農業であり、財政基盤は弱く類似団体平均(0.24)を若干下回り0.23となっている。

経常収支比率：平成16年度にゴルフ場建設に係る特別土地保有税の徴収猶予を解除したことに伴い経常的な収入は、一時的に増加(104,000千円)し、経常収支は若干改善(対前年比△0.3%)した。年々比率が悪化している要因は、扶助費、一部事務組合への負担金、特別会計への繰出金の増加などによる。しかし、義務的経費の公債費はピークを過ぎて減少傾向にあり、今後の発行額の抑制を図ることと、人件費削減のため新規採用を抑制し、平成22年度当初までに普通会計で5人(5.8%の純減)の削減を図るなど行財政改革への取組を通じて歳出削減に努め、経常収支比率の改善に努める。

起債制限比率：公債費は、平成13年をピークに減少しており、起債制限比率は、1.1%低下の9.1%となった。今後も起債発行額を抑制していく。

人口1人当り地方債現在高：類似団体平均を若干上回っている(32,020円)が、新規地方債の発行額抑制等により、類似団体の水準以下となるよう努める。

ラスパイレス：平成12年度から5年間の計画で実施している定員適正化計画により類似団体平均となっている。

指数：今後も計画的な定員管理を実施し現在の水準以下を維持する。

人口1000人当たり職員数：類似団体平均を若干下回っている(△0.37人)今後職員数については、平成17年度を初年度として平成22年度当初までの5年間で5人(△5.8%)の削減を目標とする。